

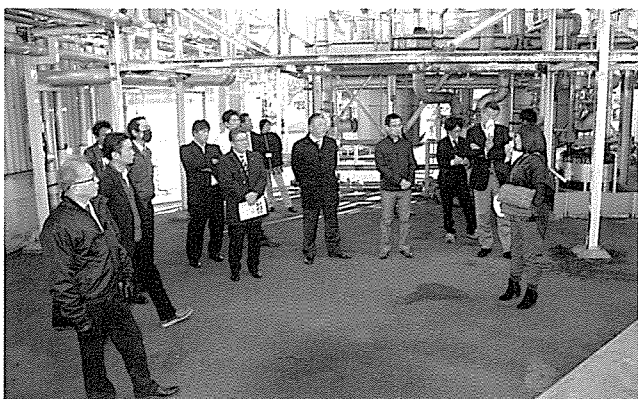
名古屋支部

名古屋支部（新美三良支部長）は、平成28年12月2日（金）～3日（土）に支部会員15名が参加し、富山市エコタウン内の（株）エコ・マインドと富山グリーンフードリサイクル（株）及び金沢市の（株）中部資源再開発を視察しました。

12月2日（金）は、富山市エコタウンにある（株）エコ・マインドと富山グリーンフードリサイクル（株）を視察させていただきました。

富山市エコタウンプラン（環境と調和したまちづくり計画）は平成14年5月に全国で16番目に承認され、このプランに従い、富山グリーンフードリサイクル（株）は平成15年第一期事業として4施設の一つとして事業を開始しました。

富山グリーンフードリサイクル（株）は食品廃棄物をバイオガス化技術でメタン発酵させ、発生したバイオガスにより発電して電気エネルギーとして利用するとともに、メタン発酵の過程で発生する発酵廃液を利用して剪定枝等を堆肥化し、地元の農業法人や造園業界などで有効利用されています。また、バイオガスを販売し、有機性廃棄物の地域ゼロエミッションモデルとなっているとのことでした。



富山市職員による説明

（株）エコ・マインドは第二期事業として3施設の一つとして平成18年に事業を開始しました。（株）エコ・マインドは繊維廃棄物、汚れや異物の付着した紙や木、廃プラスチック類とそれらの混合可燃物など、リサイクルが困難で従来、焼却・埋立てによ

視察研修会

り処分されていた廃棄物を原料にして、低コストで品質の安定した固形燃料を製造しています。平成20年冬からは廃タイヤなど廃合成ゴムの燃料用ゴムチップ等へのリサイクルを行っているとのことでした。



エコタウン推進センター前で記念撮影

12月3日（土）は、金沢市にある（株）中部資源再開発を視察させていただきました。

（株）中部資源再開発は系列会社である（株）金沢研解体業が請け負う解体工事等から発生する建設廃棄物（がれき類、木くず、廃プラスチック類、金属くず等）を主に破碎・選別・圧縮・切断処理等を行うことにより可能な限り再資源化することを目標に事業を行っているとのことでした。



（株）中部資源再開発 中島氏と大滝氏による概要説明

また、視察させていただいた本社工場は約3万㎡の敷地があり、事業拡大に伴って、用地を広げていき、現在に至っているとのことでした。売り上げも毎年伸びているとのこと、元気な会社を視察させていただき、会員の中には、北陸地方でのビジネス受注時には、是非、取引をお願いしたいとの話もありました。

今回の視察研修に参加し、参加者全員が、貴重な知見を得たことを感謝し、帰路につきました。